

# U.S. Indicators

発表日:2020年9月2日(水)

## 米国 感染拡大も製造業の回復加速(8月ISM製造業)

～新規受注の急拡大が全体を牽引～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:03-5221-5001)

20年8月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、56.0(7月54.2)と前月比1.8%ポイント上昇し、市場予想中央値(ブルームバーグ集計)の54.8を上回った。18年11月の58.8以来の高い水準となっており、製造業部門の回復ペースが加速したことを示している。新型コロナウイルスの感染拡大が続くなかで、世界的な経済活動再開の動きによって米製造業活動はV字型の回復となった。主要な構成項目である新規受注が67.6(前月61.5)、生産が63.3(前月62.1)と上昇したうえ50を大幅に上回っていることから、ハードデータである製造業受注統計、生産統計もV字回復の動きを示すと予想される。もっとも、新型コロナウイルスのパンデミックに収束の動きは全くみられず、世界経済回復の勢いは弱いとみられることから、米製造業の生産がコロナ危機前の水準を取り戻すにはかなりの時間が必要となろう。

8月に総合(全18業種、下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す)で拡大した業種は、木材製品、プラスチック・ゴム、食品・飲料・タバコ、繊維、化学製品、コンピューター・電子機器、一次金属、加工金属、一般機械、アパレル、非鉄、その他製造業、電気設備・部品、紙製品、輸送機器の15業種と7月の13業種から増加した。主要6業種では食品・飲料・タバコ、化学製品が最も強い産業部門だったほか、コンピューター・電子機器、加工金属が強く成長した。一方、縮小した業種は、印刷・関連サポート活動、石油・石炭、家具・同関連の3業種と前月と変わらずとなった。主要6業種の石油・石炭が再び縮小に転じた。

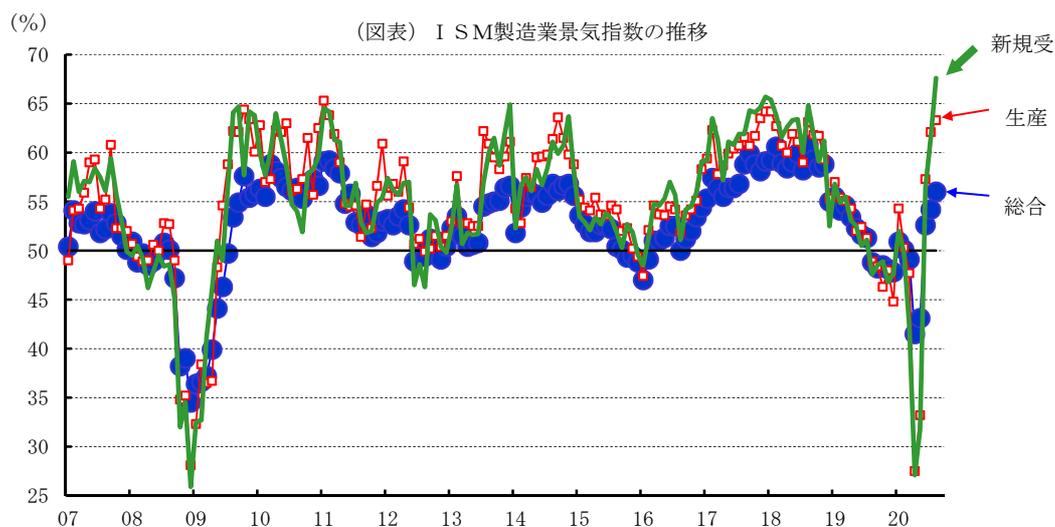
8月の構成項目別の変化をみると、経済活動の回復の動きを受け在庫が低下した一方、新規受注、生産、雇用、入荷遅延が上昇した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、在庫(前月比▲0.52%p)が押し下げ寄与となった一方、新規受注(前月比+1.22%p)、入荷遅延(前月比+0.48%p)、雇用(前月比+0.42%p)、生産(前月比+0.24%p)が押し上げ寄与となった。サブ項目では、世界経済回復の動きに伴う貿易量の増加が示された。輸出受注DIが53.3(前月50.4)と上昇し、米国輸出の増加を示唆している。また、輸入DIも55.6(前月53.1)と上昇し、米国輸入の拡大を示している。

### ISM製造業景気指数

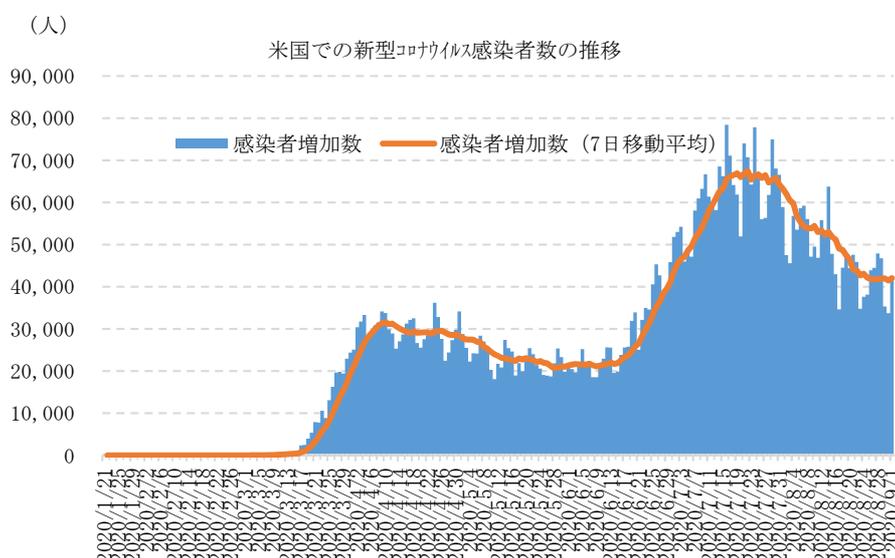
	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
20/01	50.9	52.0	54.3	46.6	48.8	52.9	45.7	53.3	53.3	51.3
20/02	50.1	49.8	50.3	46.9	46.5	57.3	50.3	45.9	51.2	42.6
20/03	49.1	42.2	47.7	43.8	46.9	65.0	45.9	37.4	46.6	42.1
20/04	41.5	27.1	27.5	27.5	49.7	76.0	37.8	35.3	35.3	42.7
20/05	43.1	31.8	33.2	32.1	50.4	68.0	38.2	40.8	39.5	41.3
20/06	52.6	56.4	57.3	42.1	50.5	56.9	45.3	51.3	47.6	48.8
20/07	54.2	61.5	62.1	44.3	47.0	55.8	51.8	53.2	50.4	53.1
20/08	56.0	67.6	63.3	46.4	44.4	58.2	54.6	59.5	53.3	55.6

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

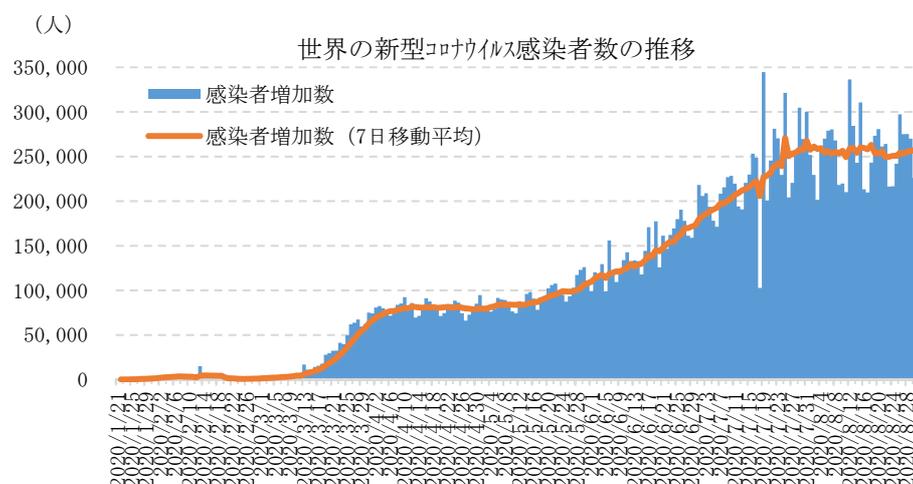




(出所) I S Mデータより作成



(出所) CDC等



(出所) WHO等

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

